

読者コーナー「ホッとtime」

「読者コーナー・ホッとtime」は、皆さんが大事にしている“座右の銘”(常に自分の心に留めておいて、戒めや励ましとする言葉)や、是非とも他の方にも紹介したい“おすすめの〇〇”を、読者の皆さんから応募していただくコーナーです。読みながら、ホッとした時間をお過ごしいただければと思います♪

私の座右の銘

『置かれた場所で咲きなさい』

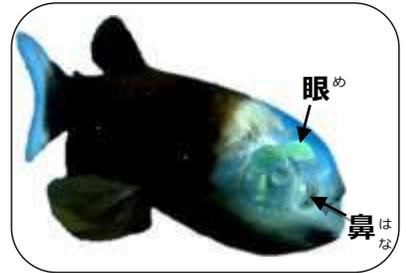
これは、十年ほど前にベストセラーになった当時ノートルダム清心学園理事長だった渡辺和子の著書のタイトルです。著者が言わんとしていることは、『時間の使い方は、そのままのちの使い方。置かれたところこそが、今のあなたの居場所です。』「こんなはずじやなかった」と思う時にも、その状況の中で「咲く」努力をしてほしいのです。』に尽きます。

私は人生の前半をすでに終え、今人生の後半を生きています。正直、私の人生の前半は、この欄のタイトルにあるような「座右の銘」など意識もしていませんでした。ただ今振り返ると、その時自分のいる環境に無意識に合わせるような生き方をしていた一方で、「その時自分のいる環境に合わせる」ことが如何にも受け身な生き方のように思えて、その環境から抜け出そうと藻掻いた時期もありました。

でも人生を歩むにつれて、『世の中自分ひとりできているわけではないので、結局はどんな人も、良くも悪くも「それぞれが今いる環境に置かれている」』ことを実感として理解できるようになりました。それなら、その環境の中で自分なりに精一杯頑張ってみることが一番素晴らしいことではないかと、今は思います。(たまり場ぱれっとボランティア 岡 昭宏)

おすすめの深海生物

この魚、知っていますか? つぶらな瞳がかわいと思ったそのあなた! 実はそれ、鼻の穴かもしれません。「デメニギス」というこの魚は、水深400~800mの深海に住んでいて、体長は15cmほど。1番の特徴はなんといっても「透明の頭」です。そして、もうひとつ大きな特徴が「大きな眼」です。なんと口の上にある、一見して眼のようなところは鼻の穴で、実際の眼は透明な頭の中にある、緑色のおわん状のものです。双眼鏡のようなこの眼、普段は写真の通り上を向いていて、獲物の影をとらえます。そしていざ獲物を捕まえる時は、ギョロっと前にむいて獲物を逃しません。そしてこの眼を守るために、透明なドームがあると考えられています。深海には、過酷な状況に対応するために様々な進化を遂げた、面白い生き物がたくさんいます。みなさんもぜひ、調べてみてください。あなたの“推し”の生き物がきっと見つかります!



(たまり場ぱれっとボランティア 村山 遥)

● 「読者コーナー・ホッとtime」では、“私の座右の銘”や“おすすめの〇〇”を、読者の皆さんから募集しています。なぜその言葉を選んだのか、どんなところをおススメしたいのか、200文字程度で書いてどしどし応募して下さいね。

応募は、FAX(03-3409-3790)または palette@npo-palette.or.jp まで。(編集部)